

土木構造物荷重指針連合小委員会 第1回幹事会 議事録(案)

日時 : 2003年11月11日(火) 13:30~15:30

場所 : 東京大学工学部1号館 2階 セミナー室B

出席者 : 白木副委員長、本城副委員長、佐藤幹事長、勝地委員、下村委員、長尾委員、三島委員、佐々木幹事

主要議題 : 目次案の説明と討議

配布資料 : k-1-1) 討議メモ(議論すべきこと)(佐藤幹事長)

k-1-2) 目次構成私案(たたき台、10/11改訂)(本城副委員長)

k-1-3) 本城目次構成案に対する具体的記述部分挿入(たたき台)(香月委員)

主な討議 (発言者、敬称略)

1. 幹事会設立経緯の説明(佐藤幹事長、資料 k-1-1)
2. 目次構成私案の説明(本城幹事長、資料 k-1-2)
3. 本論のうち一般論部分(案)の説明と討議(佐藤幹事長が代理説明、資料 k-1-3)
 - ・「1.基本方針(1)」他に、“性能マトリクスの荷重に関する部分”との記述があるが、性能マトリクスは性能の表現方法の一つに過ぎないので、性能マトリクスを前提とした記述としなくてもよい。(佐藤)
 - ・(設計用)荷重-荷重(主)因子-作用など意味の近い言葉によって、読み手が混乱しないような配慮が必要と感じる。(白木)
 - ・「2.2.2 荷重(作用)主因子」“土木構造物荷重指針では、(荷重主因子として)その確率分布モデルが与えられる”とあるが、荷重データに確率分布を当てはめたものが全ての荷重について示されることを基本的な姿勢とするのか。(佐々木)
 - ・風荷重や波浪荷重であれば、従来から認知されている確率分布モデルがある。そういったものを核にしてまとめていけばいいのではないか。(勝地)
 - ・確率分布モデルまで示されるかどうかについては、荷重によって違いがでることが予想される。佐々木幹事から指摘のあった部分は「一般論」の記述からは削除する。(佐藤)
 - ・これまでの委員会で紹介された主要荷重の荷重因子について確認したい。(本城)
 - ・荷重委員会のホームページに現状での最終版を掲載している。今後、詰めるべき部分は各荷重で行って頂きたい。(佐々木)
 - ・「3.1 作用」永続、変動、偶発の定義は ISO2394 のものが書かれているが、その他の主要コードの定義についても確認しておいた方がよい。(本城)
 - ・土木・建築にかかる設計の基本、建築荷重指針、Eurocode1、ASSHOTO の荷重に関する記述を整理して次回委員会に提出する。(佐々木)
 - ・コンクリート構造物の環境的影響は、時間的な変動は無視し得るので永続作用に分類されるものが多い。時間的な変動よりも空間的な変動が大きい。(下村)
 - ・目次構成では、「作用」と「環境的影響」は節を分けて扱われているが。(三島)
 - ・現状では、ISO2394 と同じ目次構成にしている。(本城)
 - ・環境的影響を「環境的作用」として作用に含めて扱うこともできるのではないか。(長尾)
 - ・作用、環境的影響の章立てについては今後の検討課題としたい。(佐藤)

- ・ 環境的影響は、作用側（S）だけでなく抵抗側（R）へも影響するのが特徴的である。（三島）
- ・ 本荷重指針では、作用側（例えば、飛来塩分の量）を示すことを原則としたい。（本城）

4. 今後の進め方について

- ・ 香月先生の案（資料 k-1-3）を踏まえて、白木副委員長、本城副委員長、佐藤幹事長がそれぞれ見直し（案）を策定し、次回委員会に提示する。
- ・ 次回幹事会は、12月19日（金）13：30 - 16：30に開催する。場所は、追って連絡する。

以上